

英国



## による食品中の臭素系化合物の摂取量調査結果

出典：<http://www.food.gov.uk/science/surveillance/fsisbranch2006/fsis1006>

June 21,2006 Food Survey Information Sheet 10/06

欧州において、各方面から報告される臭素系難燃剤の生態系への蓄積報告を心配した、英国の FOOD STANDARD AGENCY は、2003 年、2004 年に市中から回収した 19 種類の食物サンプルの調査結果を発表した。この調査は、**Total Diet Studies (TDS)**と呼ばれている。

調査対象の食物は、

Bread, Canned vegetable, Carcase meats, Daily products, Eggs, Fish, Fresh Fruit, Fruit products, Green vegetable, Meat products, Milk, Miscellaneous cereals, Nuts, Offal, Oils and Fats, Other vegetables, Potatoes, Poultry, Sugars and Preserves です。

これらの食物からヒトが一日にとる臭素化合物の平均的な量は、

単位は、ng/kg bodyweight/day

	それぞれの食物で	合計
PBDE 合計	0.01 ~ 4.0	5.9
HBCD	0.06 ~ 2.0	5.9
TBBPA	0.02 ~ 0.7	1.6
臭素化 DXNs 計	<0.01 ~ 0.04	0.4pg-TEQ/kg bodyweight/day

これらの調査結果を検討した結果、英国の「Toxicity of Chemicals in Food, Consumer Products and the Environment」委員会は、農産物や魚介類に由来する PBDEs, HBCD and TBBP-A、臭素化 DXNs の濃度は、毒性学的な懸念を投げかけるレベルではないと報告。

なお、詳しい報告は、**FSIS 10/06: Brominated chemicals: UK dietary intakes** にあります。